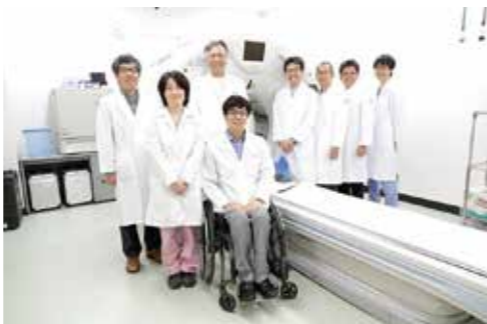


11 放射線診断科

放射線診断科 (Department of Diagnostic Radiology) で、 がんの画像診断と IVR のスペシャリストになろう！

国立がん研究センター東病院放射線診断科での研修の特徴

- ・豊富な症例数により短期間でがんの画像診断や IVR を経験できる
- ・キャリアパスに合ったオーダーメイド研修
- ・放射線治療と連携し放射線科の総合研修が可能
- ・Tumor board カンファレンスを通じてがん診療に必要な診断が習得可能



がんの画像診断を専門とする指導医の直接指導

日本医学放射線学会の総合研修施設として現在8名の指導医による画像診断の研修が行われており、CT、MRI、核医学を悪性疾患の診断のみならず、良性病変を含めて万遍なくかつ総合的に研修可能です。読影業務では、CT、MRI、MMG、RI(PET)等の画像検査の読影を行っていますが、当院の特徴として、患者さんの治療方針決定のためのカンファレンスで、放射線診断医による画像プレゼンテーションが行われています。関連する臨床科とはカンファレンスを通じて密な連携が図られており、単なる読影業務ではなく、治療方針決定のための画像診断を習得することが可能です。特に当院は頭頸部癌の基幹施設であり、頭頸部領域の症例画像を短期間で多く経験することができます。



| 2018年度画像検査数 | |
|-------------|--------|
| CT検査 | 43,216 |
| MRI検査 | 6,607 |
| マンモグラフィ検査 | 2,287 |
| 胃透視・注腸検査 | 5,690 |
| RI検査 | 1,414 |
| PET検査 | 3,149 |

がん治療に特化した IVR の研修

IVR は低侵襲的な治療として位置付けられており、血管造影用 DSA 装置と CT 装置を組み合わせた IVR-CT 装置を用いた高度な手技を積極的に行っております。当院は日本 IVR 学会の修練施設にも認定されており、臨床経験豊富な IVR 専門医が懇切丁寧に手技の指導を行っております。

2018年実績

| 手術 | 件数 |
|----------|------|
| TACE | 129 |
| TAI | 10 |
| 術前門脈塞栓術 | 10 |
| 緊急止血術 | 40 |
| 上顎がん動注 | 10 |
| 緩和目的 TAE | 5 |
| リンパ管造影 | 11 |
| 膿瘍ドレナージ | 67 |
| 心嚢ドレナージ | 11 |
| 生検 | 180 |
| 胃瘻造設 | 16 |
| CV ポート関連 | 406 |
| 合計 | 1023 |



新しいがんに対する画像診断法や IVR の臨床試験など活発な研究活動

現在当院では、320 列面検出器 CT 2 台、128 列 2 管球搭載 CT、3-Tesla MRI 2 台など、最新の大型診断機器が比較的早い時期から導入されており、がんに対する新しい診断法の開発に取り組んでいます。研究・論文報告も活発に行っており、北米放射線学会 (RSNA) では 2010 年から 2018 年まで 9 年連続で学会賞 (Magna Cum Laude 3 演題、Cum Laude 2 演題、Certificate of Merit 7 演題、RSNA Trainee Research Prize 1 演題) を受賞しています。

研修コース

がん専門修練医コース

下記レジデント修了者に相当する学識を持つ医師が対象です。応募条件の詳細は研修課程をご確認ください。将来のわが国の放射線診断を牽引する人材の育成を目的としています。研修年限は 2 年で、指導医のもとで高度の知識・技術の習得に努め、基礎研究や専門性を発揮した研究活動も可能です。

レジデント 3 年コース、2 年コース

採用時に医師免許取得後 3 年目以降の医師が対象です。応募条件の詳細は研修課程をご確認ください。放射線診断・IVR を専門とする医師になるために必要な学識と技術を習得することを目標としています。研修年限は 3 年で、放射線診断に関連する他の部門での研修も可能です。

レジデント短期コース

医師免許取得後 3 年目以降の医師が対象です。応募条件の詳細は研修課程をご確認ください。3 か月単位、最長 2 年未満まで延長可能な研修コースです。限られた期間の研修のため、放射線診断を専門とする医師で、特にがんの放射線診断に関する研修を短期間で集中的に受けることを希望される方が選択可能なコースです。

専攻医コース

医師免許取得後 3 年目以降の医師が対象です。応募条件の詳細は研修課程をご確認ください。基本領域専門医取得のための研修を目的としたコースです。研修期間および連携施設、研修医師の希望に応じて研修プログラムを編成します。

モデルコース

画像診断を重点的に学ぶ研修

レジデント 3 年コース

| | 1 年目 | 2 年目 | 3 年目 |
|--------|-------------------------|-----------------------|------|
| CT・MRI | 読影の基礎となる胸部腹部 CT・MRI を習得 | 神経・頭頸部・骨軟部・乳腺など | 自由選択 |
| IVR | IVR の基礎となる技術の習得 | 血管系・非血管系 IVR を術者として担当 | 自由選択 |
| その他 | US・造影検査・単純写真 | MMG・単純写真・核医学検査 | |
| 学術 | 国際学会発表 (RSNA など)・論文執筆 | | |

IVR を重点的に学ぶ研修

レジデント短期コース

| | 1-4 ヶ月 | 5-8 ヶ月 | 9-12 ヶ月 |
|-----|--------------|--------------|----------------|
| 読影 | カンファレンス参加 | カンファレンス参加・担当 | カンファレンス参加・担当 |
| IVR | 基本技術の習得・計画など | 基本技術の習得・計画など | 術者として手術参加・計画など |
| 学術 | IVR 関連の学会発表 | | |

研修に関するお問い合わせ先

国立がん研究センター 東病院
放射線診断科

科長：
小林 達伺

メールアドレス：
takobaya@east.ncc.go.jp

東病院放射線診断科レジデントプログラム HP
https://www.ncc.go.jp/jp/ncce/clinic/diagnostic_radiology/resident/



Facebook 東病院 教育・研修情報
<https://ja-jp.facebook.com/nceasteducation/>

